

## 授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 医療的ケア I		授業の種類 (講義)・演習・実習)		授業担当者 高橋 幸代 (実務経験者)	
授業の回数 33回	時間数(単位数) 50 時間 (2)	配当学年・時期 2年 通年	必修・選択 必修		
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>職業倫理、医療的ケアを必要とする利用者や利用者家族の気持ち、医療従事者との連携の大切さと安全性、制度など医療的ケアを行うに必要な知識、価値、技術を教授する。</p> <p>[授業修了時の達成課題 (到達目標) ]</p> <p>社会福祉士・介護福祉士法に規定する医療的ケアの業務を果たせるための基礎的知識と技術を習得する、とともに、価値観や倫理観を修得できる。</p>					
<p>[授業のテーマ・内容]</p> <p>実時間 50時間 90分授業で 33回行う。 1回のみ120分授業</p> <p>1 オリエンテーション <u>医療的ケア実施の基礎</u> (120分授業)</p> <p>2 3 人間と社会</p> <p>4 5 保健医療制度とチーム医療</p> <p>6 7 安全な療養生活</p> <p>8 9 清潔保持と感染予防</p> <p>10 11 健康状態の把握</p> <p>12 13 高齢者及び障害者・児の<u>喀痰吸引</u>概論・<u>基礎的知識</u></p> <p>14 15 //</p> <p>16 17 高齢者及び障害者・児の<u>喀痰吸引</u>実施手順解説</p> <p>18 19 //</p> <p>20 21 高齢者及び障害者・児の<u>経管栄養</u>概論・<u>基礎的知識</u></p> <p>22 23 //</p> <p>24 25 高齢者及び障害者・児の<u>経管栄養</u>実施手順解説</p> <p>26 27 //</p> <p>28 喀痰吸引実施手順解説 29 腔内の喀痰吸引 (講義) 30 鼻腔内の喀痰吸引防 (講義)</p> <p>31 気管カニューレ内部の喀痰吸引 (講義) 32 胃ろう又は腸ろうによる経管栄養 (講義)</p> <p>33 経鼻経管栄養 (講義)</p>					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び基準]		
最新介護福祉士養成講座 医療的ケア		中央法規		(試験やレポートの評価基準など) 試験80%出席10%レポート10%	